

明るく住みよいまち  
それは一人ひとりの人権が  
大切にされ、  
誰もが明るく幸せに  
生きていくことが  
できるまちです

未・来・に・向・か・っ・て

# ふるさと

No.53

2024（令和6）年  
10月1日発行

ここに菊池市人権未来都市を宣言する。

2022（令和4）年7月30日

一人ひとりの人権が大切にされる

人権のまちづくりをめざします！

## 紙面紹介

- 1ページ 菊池市人権未来都市宣言
- 2ページ 宣言文ができた経緯と願い  
菊池市がめざすまちづくり
- 3ページ 第20回菊池市人権・同和教育研究大会  
「大会報告」

編集・発行 菊池市  
菊池市教育委員会  
菊池市人権・同和教育推進協議会

## リーフレットに関するお問合せは

菊池市役所総務部人権啓発・男女共同参画推進課まで  
TEL 0968-25-7209（直通）

きくちしじんけんみらいとしせんげん  
菊池市人権未来都市宣言

ひと う じゆう びやうどう い けんり ゆう  
人は生まれながらにして自由であり、平等に生きる権利を有している  
にほんこくけんぽうおよ せかいじんけんせんげん ほしやう  
と、日本国憲法及び世界人権宣言でも保障されている。

ぶらくさべつ じよせい こ こうれいしゃ しょう  
しかし、いまだに部落差別をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい  
しゃ がいこくじん せいてき など へんけん さべつ じんけんしんがいは  
者、外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、人権侵害など  
もんだい あと た  
さまざまな問題が後を絶たない。

わたし じんるいきやうつう かだい こくふく つよ  
私たちは、この人類共通の課題を克服していくため、あらためて強い  
けつい もんだい と く  
決意をもってこの問題に取り組まなければならない。

こ ち みらい ひとり ひと  
そして、子どもたちがこの地で未来へはばたき、一人ひとりがその人  
い たやうせい みと あ だれ ち しあわ きやうじゆ  
らしく生き、多様性を認め合うことで、誰もがこの地で幸せを享受  
きくちし  
することができる菊池市にしたい。

わたし きくちしみん みらいえいごう すべ ひと じんけん たいせつ  
私たち菊池市民は、未来永劫にわたり全ての人の人権が大切にされる  
さべつ あか ちか  
差別のない明るいまちづくりをめざしていくことを誓い、ここに  
きくちしじんけんみらいとし せんげん  
「菊池市人権未来都市」を宣言する。

2022（令和4）年7月30日

菊池市人権未来都市宣言は「みちしるべ」です

菊池市民みんなで取り組みましょう



▲動画版は  
こちらから！

## 宣言ができた経緯と願い

2021（令和3）年4月に菊池市内の土地売買をめぐる部落差別事件が起きました。あらためて部落差別が社会に根強く存在していることを思い知らされた事件でした。

しかしこの事件を起こした企業はその後、大きく変わり、現在は差別をなくす側の企業として活動を続けられています。その姿から「人は変わることができる」という大きな展望を示してくれた事件でもありました。

そこで、この機会に、「すべての人の人権が大切にされ、住みよい菊池市にしたい」という願いをもって作られたのが「菊池市人権未来都市宣言」です。

私たち菊池市行政職員も、菊池市民の皆さんも「変わることができる」はず  
です。変わらなくてはなりません。



## 菊池市をめざすまちづくり

あなた自身のことを考えてください。あなたは男ですか？女ですか？性的マイノリティですか？出身地はどこですか？外国にルーツがありますか？自分や家族に何か障がいがありますか？職業は何ですか？ハンセン病や水俣病と何か関係がありますか？

これらの問いに対して、あまり触れてほしくないな、嫌な気分だなあと感じる人は、そこに差別や偏見が潜んでいることを、体験などを通して感覚的に知っているからでしょう。「性別がどうであれ、障がいがあろうと無かろうと、別にどうでもいいじゃないの。私は私…」と胸を張って言える社会ならば生きやすいと思います。しかし、現実は多数派（マジョリティ）が作り出す意識や価値観に大きく左右されています。施設・設備や法律もそうです。少数派（マイノリティ）は中心に置かれないのが現実です。少数派が差別や偏見のために肩身の狭い思いをさせられる社会であるならば、変えていかなくてはなりません。

差別のない菊池市をめざすこととは、私たち一人ひとりが、自分自身がどの立場で生きているのか知り、自分に最も身近な問題は何か考えて、行動することからはじまるのではないのでしょうか。1人の100歩より100人の1歩が大事なのですから。



## 差別のない明るいまちづくりのための

## 大会報告

## 第20回菊池市人権・同和教育研究大会

第20回菊池市人権・同和教育研究大会は、2024年7月27日（土）に菊池市生涯学習センター等6つの会場にて開催されました。

## 全体会より…講演：ネットと部落差別～「当事者」の一人として考え実践してほしいこと～

講師：反差別・人権研究所みえ代表理事兼事務局長 まつむら もとき 松村 元樹 さん

人権啓発講演会では、インターネット上での部落差別とたたかう松村さんに、「なぜネット上で部落差別が過激化しているのか、わたしたちにできることは何か」といった内容でお話をいただきました。

松村さんはまず、「人権」の定義から丁寧に説明され、さらにインターネットの特性が差別を扇動する方向へ作用することもあるということ、実際の投稿を例に挙げて示しました。インターネットの利用者であるわたしたちは、その特性の十分な理解と、日常的な人権学習の必要性があることを説かれました。

講演を聴いた参加者からは、「ネット社会の危険性とその対処等貴重なお話を聴くことができた」「悪意を持たずに、気付かないままに差別に加担してしまうことがあるのではと危機感を感じました」という感想が寄せられました。



## 分科会より…人権に関するさまざまな取組のレポート（ ）内は提案者所属

## 第1分科会

## 地域づくり活動

（隈府校区・泗水東校区）

## 第2分科会

## 行政の課題

（旭志支所市民生活課）

## 第3分科会

## いのちと暮らし

（山鹿人権擁護委員協議会菊池部会・まちづくり推進委員）

## 第4分科会

## 男女共同参画社会の実現に向けて

（きくちにじの会女性部）

## 第5分科会

## 青年の活動

（青年団菊池支部）

## 第6分科会

## 就学前教育

（菊池みゆきこども園・双羽幼稚園）

## 第7分科会

## PTAの活動と役割

（花房小PTA・泗水東小PTA）

## 第8分科会

## なかまづくり・進路保障

## 教育内容の創造-①

（菊池北小学校・泗水小学校）

## 教育内容の創造-②

（泗水中学校・菊池高校）

## 基礎講座 ワークショップ及び講話 （熊本県菊池教育事務所）



▲分科会での協議のようす

分科会では、地域の各団体等から人権に関する取組の提案が行われ、それをもとに協議が深められました。参加者からは、「様々な職種の方が集まり、積極的に意見交換ができて良かった。色々な視点をもっている人がいるからこそ、気づくこともあり、とても勉強になった」という感想があり、周りの人との対話によって自身の人権意識を深める機会になったようです。